## 平成14年 Eスクエア・アドバンスIT教育改善

モデル開発・普及事業 盲学校向けIT教育実践モデルの開発」

> 株式会社ソフト工房 村山 慎二郎

# 概要

#### 現状

70%は弱視の生徒。個々の視力が異なる。ノウハウ、指導方法、、セットアップノウハウが未確立

鍼灸の実習で利用する、 教育的配慮を持った電 子予約カルテシステムが 存在しない。

#### 放置

## デジタルデバイトの発生

来年度より情報教育」が実施 効果的な教材とノウハウを開発

- 1:指導書、ノウハウ集
- 2:自学習用録音テープ
- 3:予約、カルテシステム

本プロジェクトの効果

デジタルデバイドの解決

平成14年度Eスクエア・アドバンス事業

## 目的・ねらい

来年より開始される 情報教育」単元へ の対応

就労の現場が要望 するIT技術を持っ た学生の育成

## 充実した指導が可能

指導書・ノウハウ集 の作成

現状 1 教材とノウハウが不足 現状 2 :個別指導が必要だが無理

> 自学習用録音教材 の作成

個別指導が可能

現状3: 教育的配 慮を持った 予約・カル テシステム がない

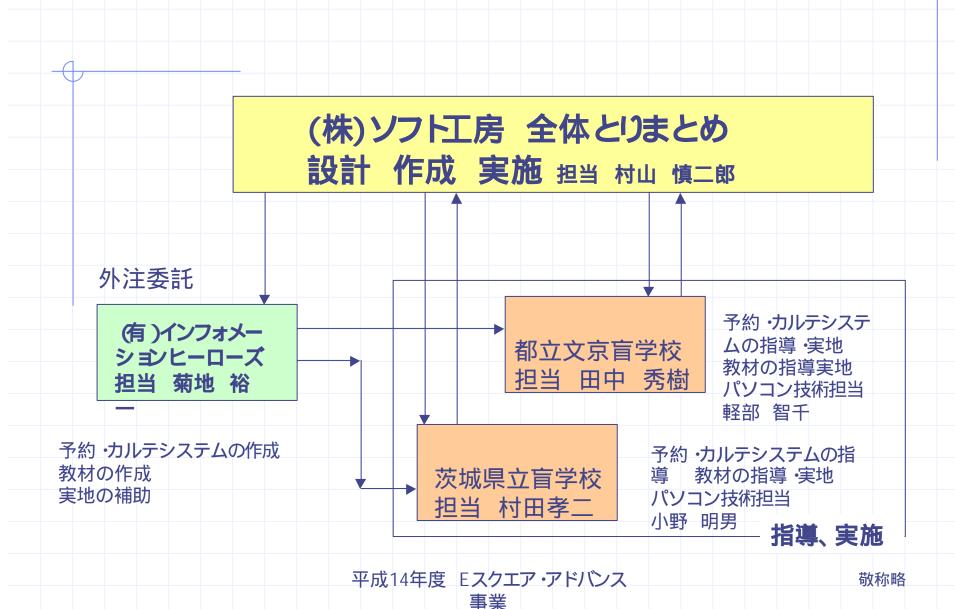
予約・カルテシステム 教育的配慮済 )作成

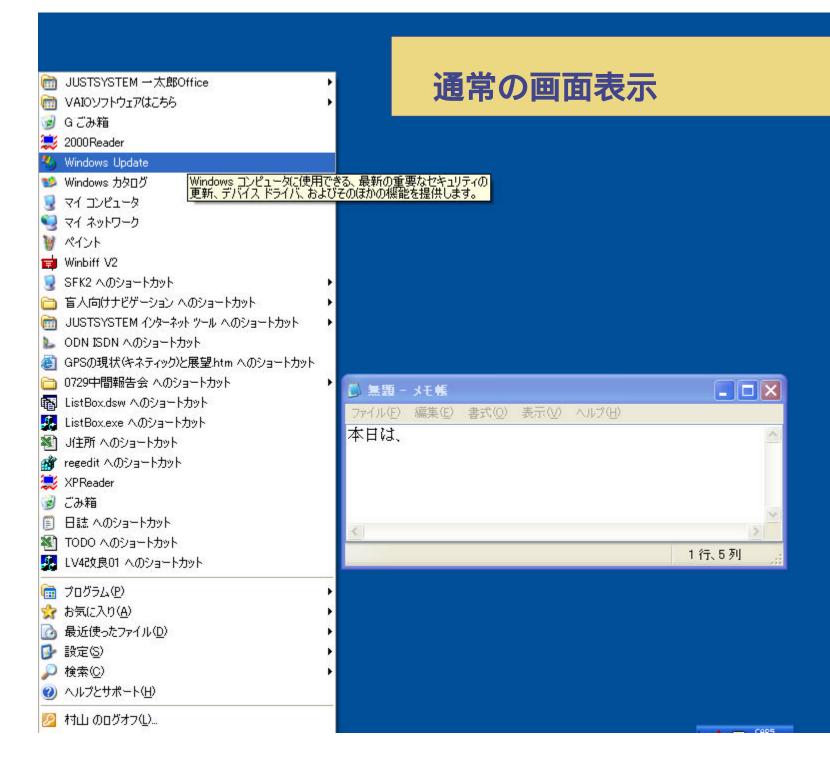
就労の現場が求める実践的 IT技術をもった学生を育成

.14年度 Eスクエア・アドバンス

事業

## 実施体制







#### ハイコントラスト画面表示









# 通常のマイコンピュータ



平成14年度 Eスクエア・アドバンス 事業

# 視覚障害者の使いやすいマイコンピュータの例



平成14年度 Eスクエア・アドバンス

事業

## 自己評価の方法

### プロジェクト開始、及び終了時に下記のアンケートを実施

- ◆ 1 一人でパソコンを起動できる
- ◆ 2 メモ帳を起動できる
- ◆ 3 メモ帳を終了出来る
- ◆ 4 数字を入力出来る
- ◆ 5 ひらがな入力出来る
- ◆ 6 漢字を入力出来る
- ◆ 8 作成した文書を印刷出来る
- ◆ 9 メモ帳で作成した文書をWordにコピー出来る
- ◆ 10 漢字で自分の氏名を入力出来る

実施時期 プロジェクト開始時と終了時実施対象 生徒、教諭

- ◆ 11 作成 *した*文書を任意の名前で保存で きる
- ◆ 12 文書ファイルを移動出来る
- ♦ 13 文書ファイルを削除出来る
- ◆ 14 予約業務が出来る
- ◆ 15 患者の情報をパソコン画面に表示出来る
- ◆ 16 患者の施術歴を音声で聞くことが出来る
- ◆ 17 施術経過を入力出来る
- ◆ 18 鍼灸の専門用語を漢字で入力出来る
- ◆ 19 画面表示文字の大きさを変更出来る (Windowsの機能を使用)
- ◆ 20 ハイコントラスト画面表示に変更出来る (Windowsの機能を使用)

平成14年度 Eスクエア・アドバンス 事業

# 成果について

- ◈成果物1
  - ■指導書、ノウハウ
- ◈成果物 2
  - 自学習用録音テープ
- ◈成果物3
  - ■実践的IT教育教材
- ◆視覚障害者が在籍する普通学校も対象

平成14年度 Eスクエア・アドバンス 事業

## 成果の普及方法

想定利用者

盲学校

視覚障害 者が在籍 するその 他の学校 成果を普及 するための HomePage

を作成

H15年度ま でサービス を行う ダウンロードで入手

指導書 *ノ*ウハウ集

自学習用録音 テープ

予約・カルテ システム

自学習用録音 テープ

HomePageで 申し込み可能 実費にて配布

平成14年度 Eスクエア・アド 事業